

平成25年6月議会の一般質問を行いました



平成25年6月13日、平成25年6月議会での一般質問を行いました。執行部とのやり取りを通じて、町政の課題について共通の認識をもてる機会だと思いきっかりと質問させていただきました。

地方自治体は二元代表制を取っています。議員の発言には多くの町民の声や意見が背景にあります。執行部の皆さんには、議員の質問には、「町民に説明するという気持ち」で丁寧な答弁をお願いしました。

今回、私が質問したのは、第1に阿見町入札及び契約制度の現状と改革について、第2に太陽光発電システムの価格について、第3に子ども達及び高齢者の安全対策の現状と対策について、の3点について執行部の考えを質しました。

第1の質問ですが、現在の阿見町の入札及び契約制度については多くの課題があり、これまでも課題が認識されるたびに改善がなされてきました。こうした改善には、終わりというものはなく社会状況の変化等に応じた継続的な改善が必要です。

行政における入札及び契約制度、いわゆる公共調達、公金（税金）を取り扱うということから、透明性、競争性、公正性、経済性が高く求められるものだと言われています。私は、もうひとつ地域経済性という観点も必要だと思っています。地元業者が能力と力をつけることの観点も大事だと思うからです。

阿見町は平成25年度の入札について改革を行いその内容について公表しています。改革を行うということは、問題点、改善すべき点があったということになります。改革を行うことになった背景も含めてやり取りを致しました。

具体的なやり取りについては以下のようなものです。

●第1に阿見町入札及び契約制度の現状と改革について

海野： 現行の議会に付すべき契約金額1億円以上を見直す考えはないか。

天田町長： 地方自治法に基づき条例を制定しており見直す考えはない。

海野： 地方自治法施行令の例示は議会に付すべき金額は5千万円だ。昨年度に5千万円以上の工事は何件あったか。阿見町を除く県内すべての町村は5千万円以上となっている。なぜ阿見町だけ異なっているのか根拠を聞きたい。

総務部長： 平成24年度は7件だった。阿見町は他の町村と比較すると人口も多く事業件数も大きいものが数多くあった。

海野： 当時の社会情勢や経済状況は理解できるが、阿見町だけ条例改正を行わないというのは、理解できない。改正する意思はあるか。執行部になれば議会から改正案を出すことになる。執行部を縛るという考えはない。

総務部長： 議決案件になると手数がかかるのでこのままでお願いしたい。

●第2に太陽光発電システムの価格について

海野： 町が導入した太陽光発電システムは高価格になっている

教育長： 近隣自治体の導入実績と比較して価格は妥当

海野：同時期の民間の太陽光発電システムは、1キロワット当たり30～35万円前後の価格。行政の導入したシステムは75万円にもなっている。なぜ、行政のシステムは高価格になるのか。

教育次長：行政が導入する場合、公の財産を築くため設計や契約事項について精査を重ねている。また、補助事業のため国交省の基準がある。一般管理費があるとところが異なる。今回の価格は決して高くはない。

海野：民間の工事や契約はきわめて厳格に行われている。むしろ行政と比較して民間の方がシビアなくらいだ。今回の比較では、工事費等も民間がコンクリートにアンカーを打っているのと比較し、行政のは波型鉄板に取り付けるなど安価になるはずだ。今後、町が事業主体となって太陽光発電システムを導入する計画があると聞かすが、しっかりと考慮していただきたい。

●第3に子ども達及び高齢者の安全対策の現状と対策について

海野：自転車通行・通学の安全対策を図れ

教育長：学校安全計画の中で実施している

海野：中学生、高校生の通学も含めて子ども達が自転車を利用する機会は多い。自転車同士ばかりではなく、自動車と自転車、自転車と歩行者という組み合わせでも、事故につながりそうな道路箇所が散見される。事故件数及び運転講習の現状を聞きたい。自転車保険は加入を促進すべきだ。補助も考慮したらどうか。

教育長：平成24年度で自転車のかかわる事故は7件、登下校中は4件あった。学校では安全計画の中で自転車の安全運転の講習を行っている。自転車保険は基本的に保護者が加入すべきだ。加入率も把握していない。

私のホームページに詳細な項目がありますのでご参照下さい。